

単元名	「パックご飯」を使って、災害時に元気を届けられる食べ物を提案しよう(第5学年)		
内容	A ものづくり (ア)	総時間数	23
目標	<p>テーブルマーク株式会社と連携し、「パックご飯」を使って、災害時に元気を届けられる食べ物を提案する活動を通して、避難生活の中で食が果たす役割や必要性について理解し、ローリングストックできる「パックご飯」を使った食べ物の提案に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら解決に向けて考えると共に、友達と役割を分担したり、自他の考えのよさを生かしたりしながら、問題の解決に向けて協力して取り組むようにする。</p>		
指導計画の概要			
学習過程	主な学習活動		外部連携・教材等
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>出雲防災デーや毎月の避難訓練などについて振り返ったり、「そなエリア東京」で災害や防災について様々な資料を見たり体験に取り組んだりすることで、防災についての理解を深める。</li> <li>大田区危機管理課と提携している防災士の方の話を聞き、災害への備えの大切さを自分ごととして捉えられるようにする。</li> <li>授業パートナーのテーブルマーク株式会社から、非常食や商品開発についての話を聞き、「パックご飯」を使った防災食を作ることへの依頼を受ける。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>そなエリア東京</li> <li>大田区ハザードマップ</li> <li>大田区危機防災管理課</li> <li>テーブルマーク株式会社</li> </ul>
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養士の講話を基に、食に必要な簡単な三大栄養素や給食を作るうえでの工夫の大切さを理解する。</li> <li>コンセプトをより明確にするために、ターゲットについて必要な調査やその方法を考え、実施する。</li> <li>ターゲットとコンセプトを味の好みや状況の二つの視点から「パックご飯」を使った食べ物を考え、グループのアイデアをまとめる。</li> <li>自分たちが考えた「パックご飯」を使った食べ物を実際に調理し、授業パートナーや友達に工夫した点を伝える。(中間発表)</li> <li>授業パートナーや他のグループから感想やアドバイスをもらい、よりよくするために話し合う。</li> <li>アドバイスをもとに再考したレシピで調理する。</li> <li>自分たちの考えを伝えきるために今までの活動を振り返り、スライドを作ったり、プレゼンの準備をしたりする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>テーブルマーク株式会社</li> <li>栄養士</li> <li>Google フォームアンケートによる調査</li> <li>Google スライドによるプレゼンテーション</li> </ul>
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> <li>工夫したところが相手に伝わるように、自分たちが考えた「パックご飯」を使った食べ物をプレゼンする。(最終発表)</li> <li>他のグループの工夫に気付き、少しの工夫で食を豊かにできることを知る。</li> <li>自分たちが考えた、「パックご飯」を使った食べ物を広める方法を考え、実践する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>テーブルマーク株式会社</li> <li>管理職・栄養士</li> <li>保護者</li> </ul>
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、独自教科で内容及び削減する授業時数			
教科等名	本単元で補完する内容		授業時数
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や意図に応じて、図や表を使って自分たちの考えや思いを詳しく書いたり、話したりする。</li> </ul>		4
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害や防災について様々な資料や体験を通して、理解を深める。</li> </ul>		5
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>食に必要な栄養素や給食を作るうえでの工夫の大切さを知る。</li> <li>グループの友達と協力をして、自分たちが考えた「パックご飯」を使った食べ物に合わせて調理する。</li> </ul>		2
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>「パックご飯」を使って、災害時に元気を届けられる食べ物を提案する活動を通して、避難生活の中で食が果たす役割や必要性について理解する。</li> <li>必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら解決に向けて考えると共に、友達と役割を分担したり、自他の考えのよさを生かしたりしながら、問題の解決に向けて協力して取り組む。</li> </ul>		12